

◆地方創生推進交付金の効果検証について（集約結果）

事業名：筑後川上流域の森林空間・森林資源を活用した、域内経済循環を高める
自立・広域的産業クラスターの形成

地方版総合戦略の KPI 達成に有効であった・・・・・・・・ 12 人
地方版総合戦略の KPI 達成に有効とは言えない・・・・ 2 人
どちらともいえない・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 人

《委員からのご意見》

◆有効であった

- ・市役所総合案内窓口の木質化は効果のある事業である。今後の公共建物の改修工事などには、木質化を行うべきである。連携事業としては難しい面もあり、今後は市単独の事業として考えていく必要もある。「木育」については幼児期から、木に触れてもらうことが大事である（H29 年度 木育推進事業）
- ・玖珠町への合板企業進出が決まり、今後原木単価の上昇が予想されるが、林業就業者の不足感が一層高まる懸念あり。さらなる施策の加速が不可欠。
- ・総合案内窓口の木質化工事はアピール効果あった。しかし、林業就業者は増やすためには若者林業をマッチングする組織が必要だ。
- ・就業者数は増えていないが、社会的な「人手不足」を考慮するとやむを得ない。事業の継続が必要
- ・日田げたの TV 放映も下支えしている。
- ・日田市といえば「木材」のイメージなので、日田市に足を踏み入れた瞬間から、いろいろな場所で木材が多用されているのが目立つようにすべきだと思います。

◆有効とは言えない

- ・事業名と KPI の内容の関連が少し薄く感じます。背景・目的・手段をもう少し合致させることができればより効果が高まると感じます。
- ・事業目的に対する効果として「有効とは言えない」。目的に対する施策として改善が必要と思う。

◆どちらともいえない

- ・この件については、私は有効であったかどうか分かりません

《担当課（林業振興課）回答》 ※今後の計画については別紙参照

当事業は、平成 31 年度までの 4 ケ年の事業で、林業の振興、木材関連産業の活性化、木育の推進を図るため、うきは市と連携する事業として取り組むものですが、事業の内容等については、適宜見直しを行いながら実施していきます。

このうち、公共施設等の木質化を行う「木の香るまちづくり事業」、講演会の開催や木のおもちゃを購入する保育園等の民間施設に対する補助を行う「木育推進事業」については、継続事業として実施いたします。また、29 年度以降は、「森林資源の流通実態調査」や「木材製品デザイン力向上事業」等を通じて、木材関連産業の高付加価値化に取り組めます。

この事業の取組だけでは、目標に対する効果の達成は困難であると考えており、新規就業者対策や木材需要拡大対策などの事業と合わせて、本市林業の振興を図っていきたく考えています。

◆地方創生推進交付金の効果検証について（集約結果）

事業名：「ジビエでつなぐ森とまち「ひたジビエ」ブランド化事業」

地方版総合戦略の KPI 達成に有効であった・・・・・・11 人

地方版総合戦略の KPI 達成に有効とは言えない・・・・・・ 4 人

《委員からのご意見》

◆有効であった

- ・未だジビエは市民権を得ていない。しない飲食店でのトライアル調理提供等にて食する機会創出が望ましい
- ・事業目的の1つである獣肉販売の拡大については市内外の飲食店、宿泊施設への積極的取り組み対策が必要
- ・高知県梶原町は本年8月から「ジビエカー」（移動式解体処理車）を全国で初めて導入して「ジビエグルメ」のまちづくりをめざしている。栄養価が高く、健康食ともいわれるジビエには多くの味わい方があるので、まずは市民にも広く周知をして、まずは食べてもらうことが大事なのではないでしょうか。農水省は2018年度にジビエの利用拡大を目的にモデル地区を全国で12か所設置する方針である。
- ・最近ジビエ料理が増えていると思います。
- ・狩猟者から消費までの一連の工程が必要
- ・KPIについては一連の成果が見られるが、さらに予算の拡大交付によりイノシシ、シカの被害がすくなくなるよう期待します。
- ・飲食店でのひたジビエの利用拡大を目指す方向性は、今後具体的成果が期待できる。

◆有効とは言えない

- ・ジビエ料理の商品開発は必要だが、従来の販売促進では地域を売り込めない。スノーピークの力を借りて野外バーベキューなどのイベントで認知度を高めて販売促進すべきではないか
- ・ジビエブランド化はとてもライバルの多い分野だと感じます。日田でジビエをブランド化するにはメニューや試食も大切ですが、安定した処理場やそこへの供給の確保、価格などにおいて安定した数字を明示できるように取り組む必要があると感じます。
- ・ジビエ分野にかかわっているお店、人、拠点を奥日田も含め、点ではなく線でつないで魅せられると良いのではと考えます。
- ・ジビエの浸透はなかなか難しいですが、獣肉処理場を市の北部にも作って積極的に売り出してほしいと思います。

《担当課（林業振興課）回答》※今後の計画については別紙参照

「ひたジビエ」ブランド化事業は、野生獣肉の地域特産品としての認知度の向上と安定的な収入の確保を図り、獣肉処理施設の経営安定化に繋げる取り組みとして、平成30年度までの3ケ年で実施するものです。29年度は、福岡の飲食店等を対象としたツアーや福岡都市圏での販売促進活動の他、学校給食への導入や高校生対象のジビエ料理コンテストなど、若年層をターゲットとした取り組みを進めています。今後も、ジビエ推進の取組と合わせて、有害鳥獣の捕獲対策や被害防止対策を推進し、鳥獣被害の防止を図っていきたいと考えています。